

1 現状と課題

(1) 化学物質の問題の背景

- 多くの種類の化学物質を様々な用途に使うことによって成立する暮らし
- 化学物質：合成、天然、非意図的、成型加工、配合品
- 化学物質：製造量・存在量の多寡、環境への排出や環境中の残留状況、有害性、環境残留性、生物蓄積性、長距離移動性等の性質は多様
- 化学物質の適切な管理：化学物質に固有の有害性の程度と人や生物へのばく露のレベルを考慮し、環境を通じて人や生態系に悪影響を及ぼす可能性(環境リスク)をできるだけ少なくすることが基本
- 環境リスクは科学的に完全には解明されてはいない
- 管理に際して不確実性の中での意思決定が必要となることがある